

# まちの先生講座 講座企画書

講師名 清野 修

講師紹介（自己紹介） 俳歴約27年、飯田龍太主宰、俳誌「雲母」入会。後継俳誌・廣瀬直人主宰「白露」入会、同人。後継俳誌井上康明主宰「郭公」創刊同人。NHK学園俳句講座講師。

講座名 楽しい俳句

PRポイント（受講を希望する方に分かりやすくご記入ください）

俳句を作って句会を開く。全くの初心者でも、経験者でも、俳句の基礎から学びたい方への作句指導です。句会を開いて参加者が互いに楽しみつつ考えます。その場での講評、指導を行い、添削指導で実力アップを考えます。また、俳句のための蔵時談、辞書等、名句鑑賞のための本を紹介します。

講座内容（教えていただく内容、スケジュール等 具体的にお書きください）

## 【1コマ目】 俳句、句会とは

- 1、俳句とは？（季語と五七五の有季定型）
- 2、人生を、自然を、日頃の思いの文を詠う。
- 3、よい句を作るために（写生とは何か）
- 4、句会とは？（ひとりよがりの句にならぬよう、互いに楽しみつつ向上する方法、場）
- 5、句会の概要（出句、選句、披講、講評・指導、添削指導）
- 6、次回のための準備（必要なプリントを配布します。）

## 【2コマ目】 第1回句会

- 1、出句（自宅で作った句を個人句用紙に書いて来る。その句を別紙に無記名で書き提出）
- 2、精記用紙記入と回覧（提出句、全員分を精記用紙に記入し、順次に回覧）
- 3、選句（回覧の精記用紙より、よいと思った句を5句選び、選句用紙に記入、提出）
- 4、披講（披講者1人が選句用紙を読み上げる。作者判明）
- 5、講評・指導（作品の良い所、改善点を指導）
- 6、添削指導（出句した句を書いた個人句用紙提出、添削指導して次句会で返却）

## 【3コマ目】 第2回句会

- 1、前回の添削済みの個人句用紙返却
- 2、句会（第1回と同じ）
- 3、添削指導は希望者のみ（個人句用紙と切手、郵便番号、住所、氏名を明記の封筒提出→後日郵送）

使用教材

配布するプリント、筆記用具を持参